

令和5年度 指定管理者制度導入施設一覧

区分		施設名	指定管理者	所管課	総合評価	年間利用者数
公募施設	1	たつの市道の駅しんぐう	株式会社共立ソリューションズ	観光振興課	B	65,123人
	2	たつの市道の駅みつ	株式会社清交倶楽部	観光観光課	B	279,672人
	3	たつの市国民宿舎志んぐ荘	株式会社共立ソリューションズ	商工振興課	B	43,341人
	4	たつの市新宮温水プール	株式会社アクアティック	スポーツ振興課	B	57,999人
非公募施設	5	たつの市福社会館	公益社団法人たつの市・太子町広域シルバー人材センター	高年福祉課	B	6,071人
	6	たつの市新宮ふれあい福社会館	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	高年福祉課	B	27,883人
	7	たつの市御津やすらぎ福社会館	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	高年福祉課	B	24,397人
	8	たつの市老人福祉センター	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	高年福祉課	B	3,661人
	9	たつの市中央児童館	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	児童福祉課	B	6,741人
	10	たつの市はつらつセンター入浴施設	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	健康課	B	76,835人
	11	たつの市揖西コミュニティセンター	揖西コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	8,092人
	12	たつの市揖保コミュニティセンター	揖保コミュニティセンター運営委員会	社会教育課	B	4,754人
	13	たつの市誉田コミュニティセンター	誉田コミュニティセンター運営委員会	社会教育課	B	3,977人
	14	たつの市神岡コミュニティセンター	神岡コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	5,290人
	15	たつの市西栗栖コミュニティセンター	たつの市西栗栖コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	2,069人
	16	たつの市東栗栖コミュニティセンター	たつの市東栗栖コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	4,272人
	17	たつの市香島コミュニティセンター	たつの市香島コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	5,247人
	18	たつの市越部コミュニティセンター	たつの市越部コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	1,004人
	19	たつの市半田コミュニティセンター	半田コミュニティ運営委員会	社会教育課	B	3,433人

20	たつの市河内コミュニティセンター	河内コミュニティ運営委員会	社会教育課	B	3,780人
21	たつの市室津センター	室津センター運営委員会	社会教育課	B	1,387人
22	たつの市総合文化会館赤とんぼ文化ホール	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	72,609人
23	たつの市総合文化会館アクアホール	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	38,151人
24	たつの市青少年館	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	51,478人
25	霞城館	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	5,679人
26	矢野勘治記念館	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	
27	たつの市本龍野駅観光交流施設	たつの市観光協会・県民交流広場「やさしさを育むまち小宅」推進委員会共同事業体	都市計画課	B	16,862人

年間利用者数合計	819,807人
----------	----------

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市道の駅しんぐう

施設担当課:

産業部観光振興課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
財務状況		団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	委託商品(果物など)の商品展開強化。夏場からソフトクリーム機器導入し、新商品(あんこソフト)の販促(ポスター、のぼり)市企画の高齢者ギフト(べんり酢)が大きな反響。市民まつり、もみじまつりのイベント時に商品展開強化(果物、和菓子、地産品)。兵庫たびクーポン利用が12月以降は前年より大幅増加。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか?	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
観光客だけではなく、地元の方に利用いただくために、訴求を図ると同時に、要望も反映した。季節に合わせた果物や地産品の展開を強化しリピーターが増加した。志んぐ荘とタイアップ(売店販売)し、道の駅しんぐうの利用促進を図れた。	
2 市民サービスの向上は図られたか?	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
果物等は特に地元農家とも連携しながら、地元の方のオーダーに即座に対応できる商品補充を進められた。ソフトクリームの展開で夏場から近隣の方のご利用が増加した。敬老ギフト(べんり酢)も地元の方に大好評だった。	
3 業務の効率性の向上は図られたか?	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
契約社員が2名体制となり、仕入れ、在庫管理、販促等は連携を図りながらロス削減、損失については改善。パート社員も販売だけでなく、お客様とのコミュニケーションを密にはかり、リピーター獲得につながる。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか?	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
元給水費については、ははア昇内で商品売上が伸びた中で人員体制は前年並みにおさまった。水光熱費は電気代単価の大幅アップの影響を受けた。販売促進はソフトクリーム機器導入等で経費増にはなったが、収支は吸収できた。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか?	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
前年比119%(11,161千円増)、利用数も月平均457人増えて商品売上は当初予算以上の成果となった。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

前年度から懸案であったホームページを更新(6月から公開)し、新商品やイベント企画の情報発信を強化していく。

屋外冷蔵庫も設置いただいたので、商品供給の潤沢、バリエーション増やし、新たな顧客獲得につなげる。

《施設所管課が実施・検討する事項》

特になし

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市道の駅みつ

施設担当課：

産業部観光振興課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	上半期は、コロナの影響も受け、来客数は、伸び悩んだ。下半期は、牡蠣の育成不良の影響はあったものの、旅行支援クーポン事業に参画し、施設内レストランや直売所での利用枚数が多く、客単価増に繋がった。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
京阪神からのドライブスポットとして好立地であり、週末は駐車場が満車となるなど、多くの来訪者でにぎわっている。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
地元農家や漁港と連携しながら野菜や魚介類、牡蠣の販売を行い、来訪者から好評を得ている。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
正規職員、非正規職員の雇用者を調整し、人件費の削減を図ることができた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
光熱水費の高騰の影響を大きく受けた。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
収支は大幅に改善し、売上も好調であった。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

特になし

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の老朽化が目立っており、屋外トイレのリニューアルについて兵庫県と協議する。

砂浜の砂が台風等により流され大きな石がゴロゴロしている。地引網体験など砂浜を活用した体験事業に支障が出ている。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： 国民宿舎志んぐ荘 施設担当課： 産業部商工振興課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務 内容 ・ 水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		前年度から引続き、施設・設備の経年劣化への対応、安全で快適な利用環境の整備を目的として、施設・設備の修繕を行った。緊急対応が必要な修繕事案はあったが、年度内の計画した設計・工事については着手完了できた。次年度以降も施設の健全化による集客力向上につなげる。 【利用状況】【予算執行】【収支状況】コロナ禍の影響があった上四半期以降を除き、通期では当初予算値対比を上回る結果となっているが、原価(特に、水光熱費、消耗品、食材)高騰の	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか?	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)地域の中でのコミュニティ形成の場として、喫茶、ランチバイキングで新メニューや地元食材も使用し、前年度と比べ大	
2 市民サービスの向上は図られたか?	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)地元目泊芸、サークル等は利用促進はでき、宴会は秋以降に徐々に回復。喫茶利用を言めると前年度よりは回復して	
いる。利用者ニーズの掘り起しやたつの市関係課との連携を強化しながら魅力発信、シーズン企画を今後さらに強化する必要がある。	
3 業務の効率性の向上は図られたか?	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)食材仕入、光熱費、消耗品、外部用役(清掃等)については、原価の大幅アップで利用客数、売上増加に伴い前年度よ	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか?	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)施設管理委託料、人件費については、前年度に比べ増加したが、事業売上に対する比率は改善した。人員体制、ソフト体制は宿泊等の予約数、売上予測も加味しながら、進捗管理をしていく一方、戦力となる必要な人材は安定運営を図るべく確保していく。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか?	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由)令和3年度と比較すると、来館者が11,410名増え、客単価も920円増えた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の清掃、美化に努める。不具合箇所、設備更新の状況管理。

新規客の獲得に向けて、旅行会社、団体(学校・生協・法人)などへの積極的な営業活動。

たつの市の各イベント等の販促を市と連携しながら、休憩だけではなく宿泊客を取込む施策。

《施設所管課が実施・検討する事項》

年度ごとの事業計画書により、業務計画の報告を受ける。

毎月の業務報告書、年度ごとの事業報告書により、管理、運営状況の報告を受け、業績改善に向けて話し合い、指導を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市新宮温水プール

施設担当課:

教育事業部スポーツ振興課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		【事業運営】利用者のニーズに合わせた教室(日曜教室、短期教室)の開催、体験キャンペーンなどを行うことにより、施設利用者の増加を図っている。 【利用状況】【予算執行】【収支状況】利用状況は、前年度に引き続き、コロナ前の状況まで回復している。予算執行は、適正な管理運営により、今後においても黒字が見込める状況である。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか?	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)まん延防止を行いながら285日(前年比17日減)開館し、年間57,999人(前年比2,168人減)の方にサービスが提供できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか?	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)感染症対策として、スイミングクラブ協会やフィットネス協会のガイドラインをもとに独自の対策を展開し、利用者や会員の安全を確保した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか?	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)HP、屋外POP広告、公式ラインアカウントの取得などインターネットを活用した広告宣伝を行い新規の顧客獲得に向けた情報発信を行っている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)電気代が令和6年3月に天井が落下し臨時休館したこと、また、電気代高騰に対する国の補助事業の実施、また、照明器具のLED化等により、前年比(3,558千円減)は減少している。経費縮減としては、直営時と変わらない状況となっている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか?	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由)前年比746千円増利用料の改定により、前年比は、増収している。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

コロナによる巣ごもりや利用敬遠による利用者が減っているのを、魅力ある教室やイベントの企画により、利用者増を図る。

電気料金の高騰に対処するため、ポンプやチラーの昇温設定を細かく管理し節電を徹底する。

不具合箇所、設備更新の状況管理

《施設所管課が実施・検討する事項》

開設後26年が経過し、快適な利用環境を提供できるよう、機器の更新を図る。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名:

たつの市福祉会館

施設担当課:

福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	A
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	A

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	A
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	A
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理ができています。 【人員体制】【緊急対応】【施設管理】元消防隊員の配属、緊急時のフロー図を職員全員が確認できるよう事務所に貼付するなど、危機管理体制が整っているためA評価とした。 【管理記録】【連絡調整】【利用者対応】【維持管理】【苦情等対応】アンケート結果より利用者への丁寧な対応がみられ、始業前の館内外の清掃を職員全員で行うなど、利用者が快適に利用できるように配慮がされているため、A評価とした。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 目的達成のため事業計画を的確に実施した。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 来館者への気軽な声かけ等、来館しやすい環境につとめた。特に転倒防止のためシールを設置した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 施設管理職員を配置し施設の維持管理から受付業務に至るまで迅速な処理に努めた。特に、支部・事業所の統廃合により1名増員となったことで、今まで以上に業務の効率性の向上が図られた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 簡易な修繕(受水槽のふた修理、看板取付け等)は職員で対応し、経費節減に努めた。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由) 昨年度より会議室年間利用者が増加したため。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の老朽化による受水槽修繕が困難に至っている。

自動ドアのドアエンジン装置全体にの経年劣化が進んでいる。

インボイス制度開始に伴う会館使用料収納事務(領収書等)の検討が必要となっている。

《施設所管課が実施・検討する事項》

新たな利用者を増やし、交流の場として市民活動の促進を図る。

経年劣化による施設の整備

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市新宮ふれあい福祉会館 施設担当課： 福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務 内容 ・ 水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理ができています。 【緊急対応】【施設管理】【利用者対応】【維持管理】 入浴時の事故(心臓発作等)を防ぐため、血圧測定後の入浴を呼び掛けるなどの事故防止に取り組み、また、経年劣化による設備等の修繕を予算の範囲内で計画的に実施していることからA評価とした。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 市民福祉の増進と福祉会館の施設及び設備の維持管理に努めることができた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 新宮地域のボランティア活動の拠点として活動が活発化、貸館利用者も増加した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☐ ①図られた ☒ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 運営面ではコロナの収束に向けて効率よく適切な対応ができたが、設備面では経年劣化等により修繕が多発している。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 物価上昇、利用者数増に伴う光熱水費が増加した。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) コロナの収束に応じて、ふれあいの湯、貸館利用者の増により増加した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

開館から25年を経過し、経年劣化等による設備の修繕が多発しているとともに、取替・交換時期も来ている。
 A重油を燃料とするふれあいの湯は、ボイラー室の真空バーナーを令和2年に交換したが、現在、ポンプ、ろ過器、配管、殺菌装置等の取替・交換、本館では、エレベーター、照明、空調、便器の改修、交換等が必要となっている。

《施設所管課が実施・検討する事項》

多世代の利用促進
 経年劣化等による施設・設備等の計画的な修繕

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市御津やすらぎ福祉会館 施設担当課： 福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理ができています。 【緊急対応】【事業運営】 緊急時等に対応するための休日の連絡体制の確保がされており、子育て世代から高齢者まで幅広い年齢層を対象にしたボランティアグループに活動の場を提供し、積極的にボランティア活動推進	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 地域福祉活動、ボランティア活動の拠点として安定的に貸出が可能になるよう努めた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 照明の変更により以前より明るい居室とし、安全に利用できるように努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 職員間の連絡、相談を心掛けスムーズに業務を行うことができた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 電話機リースの変更により経費削減ができた。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) コロナ収束により、貸館の利用者が増えた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- ・施設の清掃、美化及び安全点検に努める。
- ・エレベーター、自動ドア等のリニューアルを業者より連絡を受けており、計画的な対応が課題。

《施設所管課が実施・検討する事項》

- ・健康課、児童福祉課との連携による多世代の利用促進

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市老人福祉センター

施設担当課:

福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
--------	---------------------------------------	---

5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理ができています。 【連絡調整】【利用者対応】【事業運営】【維持管理】【利用状況】 団体の要望等に対する市との連絡調整、利用者の要望に対する備品の調達、優先順位を考えた計画的な備品の修繕、相談等に対する丁寧な対応を行っていることからA評価とした。	
--------------------	--	--

※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由) 11の趣味クラブに対し会場と提供するなど便宜をはかることで、健康の増進と教養の向上を図った。			
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由) 利用者に対し各種の相談に応じるほか、老人クラブの事務を取りまとめた。			
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由) 職員間の連携を図り、利用者に対してスムーズな対応を実施した。			
4 経費削減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた	☒ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由) 設備の老朽化により修繕費が増加した。			
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加	☐ ②減少	☒ ③直営時と変わらない
(理由) 利用料金の徴収なし。			

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

老朽化した施設の順次修繕により安全点検に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用の促進による高齢者の社会活動の推進

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市中央児童館

施設担当課：

福祉部児童福祉課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		市や関係団体と適切な連絡調整を行い、良好な施設運営を継続している。また、新型コロナウイルス感染症対策として、施設等の消毒・換気等の対策を適切に行った。 【連絡調整】必要に応じて連絡や報告をしているためA評価とした。 【利用者対応】開設時間に合わせた準備をし、利用者に優しく声をかけ丁寧な対応をするとともに、備品等を適切に提供しているためA評価とした。 【事業運営】【利用者アンケート】利用者の意見を聴きながら、季節に応じた装飾や行事を行い、利用者が楽しめる環境を整えたためA評価とした。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)年代に合わせた7種類のクラブ活動、えほんの貸出などの毎月の事業のほか、季節に合わせた行事を企画すると	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)夏休み期間中に学習室を中学生高校生を対象に自習スペースとして開放し児童館利用のきっかけとした。運動会実施の際、中学生高校生のボランティアを募集し、中高生が児童館で活動できるきっかけとした。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)正規職員とパート職員の連携を図り、対応の意思統一を図ることで、利用者に対してスムーズな対応を実施した。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)事業実施に係る費用は抑制しているが、人件費が増となり全体として直営時と変化はない。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☐ ②減少 ☒ ③直営時と変わらない
(理由)条例の規定により、利用料金の徴収なし。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の清掃・美化・遊具の安全点検に努める。

幅広い年齢層の利用促進をする。

《施設所管課が実施・検討する事項》

人件費等の支出を抑制し、運営できる体制を整える。

中高生が利用し、活動できる環境を作る。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名：たつの市はつらつセンター入浴施設 施設担当課：

健康部健康課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A
財務状況		団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		【緊急対応】新型コロナウイルス感染症防止対策及び心疾患・脳血管障害等による入浴中の事故防止対策について、迅速に対応し安全対策に努めたことからA評価とした。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)新型コロナウイルス感染症拡大により減少していた施設利用者数が令和4年度は回復し、市民の健康づくりと市民相互のふれあいの場として活用されている。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)新型コロナウイルス感染症防止対策を取りながら、安全安心な施設として利用されている。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)新型コロナウイルス感染症防止対策が確実に図られるよう入館者の動線を見直し、感染症防止に努めた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)修繕費の増加により維持管理費用は増額した。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由)前年度と比較して利用者が10,919人増加したため利用料も増額となっているおり、コロナ禍前の利用者数に戻っている。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の清掃・美化、感染防止に努める。

入浴中の事故(心疾患や脳血管障害による意識障害等)を防止するため、職員の声かけにより入浴前の血圧測定など、入館者の自己管理を促す。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設が建設されてから20年が経ち、浴槽へ湯を送る管の劣化に伴い、漏水が顕著である。

また、湯の生成装置も改修から10年が経ち、入替が必要となっている。ついては、全体的な施設の更新を検討する必要があるはつつセンターで実施する事業等が拡大・集中しているため、駐車場不足が問題となっている。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市揖西コミュニティセンター 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評価区分	①評価基準 ↓	A(優良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) ヨガやステンドグラス教室、歴史セミナーなど各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由) 中央公民館改修に伴うグループの利用が増えた	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

リスク分担に定められた範囲内において、修繕等の適切な執行に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市揖保コミュニティセンター 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評価区分	①評価基準 ↓	A(優良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 寄せ植え、ヨガ教室、歴史セミナーなど各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☐ ①図られた ☐ ②図られなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☐ ②減少 ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 減免団体の利用が多く、大きな変化はない。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

リスク分担に定められた範囲内において、修繕等の適切な執行に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市菅田コミュニティセンター 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)ちぎり絵、ふるさと料理、花とみどり教室など各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☐ ①図られた ☐ ②図られなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☐ ②減少 ☒ ③直営時と変わらない
(理由)減免団体の利用が多く、大きな変化はない。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

リスク分担に定められた範囲内において、修繕等の適切な執行に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市神岡コミュニティセンター 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
財務状況		団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評価区分	①評価基準 ↓	A(優良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 料理・お菓子作り教室、夏休みこども教室など各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☐ ①図られた ☐ ②図られなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☐ ②減少 ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 減免団体の利用が多く、大きな変化はない。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

リスク分担に定められた範囲内において、修繕等の適切な執行に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名：たつの市西栗栖コミュニティセンター 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 感染防止対策などを徹底して安心して利用できるようにサービス向上に努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☐ ①図られた ☐ ②図られなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 利用者の回復により、利用料は増加した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

リスク分担に定められた範囲内において、修繕等の適切な執行に努める。

アンケート調査の方法を改善して、利用者の意見及び要望を的確に把握するよう努めます。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名：たつの市東栗栖コミュニティセンター 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)感染防止対策などを徹底して安心して利用できるようにサービス向上に努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☐ ①図られた ☐ ②図られなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)必要最低限の経費でこれ以上の削減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者の回復により、利用料は増加した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

リスク分担に定められた範囲内において、修繕等の適切な執行に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市香島コミュニティセンター 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評価区分	①評価基準 ↓	A(優良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 感染防止対策などを徹底して安心して利用できるようにサービス向上に努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☐ ①図られた ☐ ②図られなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の削減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 利用者数は回復したが、利用件数の減少により、利用料も減少した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

リスク分担に定められた範囲内において、修繕等の適切な執行に努める。

アンケート調査の方法を改善して、利用者の意見及び要望を的確に把握するよう努めます。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市越部コミュニティセンター 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
財務状況		団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 感染防止対策などを徹底して安心して利用できるようにサービス向上に努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☐ ①図られた ☐ ②図られなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 利用者の回復により、利用料は増加した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

リスク分担に定められた範囲内において、修繕等の適切な執行に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市半田コミュニティセンター 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評価区分	①評価基準 ↓	A(優良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 感染防止対策などを徹底して安心して利用できるようにサービス向上に努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☐ ①図られた ☐ ②図られなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の削減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 利用者の回復により、利用料は増加した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

リスク分担に定められた範囲内において、修繕等の適切な執行に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市河内コミュニティセンター 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
1	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	
制	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評価区分	①評価基準 ↓	A(優良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 感染防止対策などを徹底して安心して利用できるようにサービス向上に努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由) 社会活動が回復してきているものの、料金的には変化はない	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

リスク分担に定められた範囲内において、修繕等の適切な執行に努める。

アンケート調査の方法を改善して、利用者の意見及び要望を的確に把握するよう努めます。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市室津センター

施設担当課：

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評価区分	①評価基準 ↓	A(優良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)落ち込んだ利用者数を回復するために消毒などを徹底して安心して利用できるようにサービス向上に努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☐ ①図られた ☐ ②図られなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☐ ②減少 ☒ ③直営時と変わらない
(理由)目立った変化はない。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

リスク分担に定められた範囲内において、修繕等の適切な執行に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市総合文化会館赤とんぼ文化ホール 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 施設設備の経年劣化により、今後設備改修を計画的に行っていく必要がある。 新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛が緩和され、自主事業や貸館利用の人数制限が解除されたことで利用者数が増加した。(令和3年度:979件 47,890人 令和4年度:1,268件 75,061人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 自主事業と施設の貸館業務により文化・芸術の振興及び地域文化の向上が図れた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 子どもから高齢者までの様々な年齢層を対象に幅広いジャンルの公演が行えた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 極力節減に努めたものの、施設利用が増加したことで燃料費・光熱水費が増額となった。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 前年度と比較して新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛が緩和され、貸館利用の人数制限が解除されたことで利用者数や予約数が増加した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ、広告等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

開館後26年が経過し、経年劣化による施設の整備、設備の更新等を実施する。

業務に必要な人員確保と配置を行う。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市総合文化会館アクアホール 施設担当課: 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
財務状況		団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務 内容 ・ 水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 施設設備の経年劣化により、今後設備改修を計画的に行っていく必要がある。 新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛が緩和され、自主事業や貸館利用の人数制限が解除されたことで利用者数が増加した。(令和3年度:1,129件 20,715人 令和4年度:1,296件 31,573人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 自主事業と施設の貸館業務により文化・芸術の振興及び地域文化の向上が図れた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 地域に密着した市民参加型の事業を中心とした公演が行えた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 極力節減に努めたものの、施設利用が増加したことで光熱水費が増額となった。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 前年度と比較して新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛が緩和され、貸館利用の人数制限が解除されたことで利用者数や予約数が増加した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ、広告等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

開館後21年が経過し、経年劣化による施設の整備、設備の更新等を検討する。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市青少年館 施設担当課: 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 施設設備の経年劣化により、今後設備改修を計画的に行っていく必要がある。 新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛が緩和され、自主事業や貸館利用の人数制限が解除されたことで利用者数が増加した。(令和3年度:2,240件 45,413人 令和4年度:2,705件 73,159人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 自主事業と施設の貸館業務により文化・芸術の振興及び地域文化の向上が図れた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 多様な教養講座やラケットボールの普及を通して文化とスポーツの両面の事業展開を行った。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 予算の範囲内で極力節減に努めたものの、施設利用が増加したことで光熱水費が増額となり、空調機の故障等により修繕費が増額となった。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 前年度と比較して新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛が緩和され、貸館利用の人数制限が解除されたことで利用者数や予約数が増加した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ等による宣伝強化。

利用者アンケートを行い、利用者等の意見及び要望を把握して業務に反映させる。

《施設所管課が実施・検討する事項》

開館後41年が経過し、経年劣化による施設の整備、設備の更新等を検討する。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名：

霞城館

施設担当課：

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
財務状況		団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。 新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛が緩和され、施設利用が増加した。(令和3年度:3,854人 令和4年度:5,065人)		
※ 評価区分	①評価基準 ↓	A(優良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)たつの市出身の文化人に関する文献・資料の展示と顕彰・啓発事業が行えた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)展示・事業を通じ、地域文化の向上と来館者の意識高揚に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)前年度と比較して新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛が緩和され、利用者数が増加した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の整備、設備の修繕等を調査・検討する。

必要な資格、経験等を有する人員確保に努める。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： 矢野勤治記念館 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
--------	---------------------------------------	---

5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。 新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛が緩和され、施設利用が増加した。(令和3年度:3,854人 令和4年度:5,065人)	
--------------------	---	--

※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)たつの市出身の文化人に関する文献・資料の展示と顕彰・啓発事業が行えた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)展示・事業を通じ、地域文化の向上と来館者の意識高揚に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)前年度と比較して新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛が緩和され、利用者数が増加した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の整備、設備の修繕等を調査・検討する。

令和5年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市本龍野駅観光交流施設 施設担当課： 都市政策部都市計画課

評価項目		評価基準	評価
1	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	
制	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		【事業運営】 七夕の笹飾り、風鈴、イルミネーションの設置やこども園児の絵画展、テント村等の事業の実施について、設営段階から多世代参加で行っており、市民の交流促進・世代交流や地域の活性化、観光PRの一助となっていることからA評価とした。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)観光・地域情報の発信拠点として、観光売店での特産物の展示・販売、観光案内などを行っている。 地域の交流活動の場として、各教室やイベントの開催を行っている。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)施設が常に清潔で美しくあるよう清掃や修繕による維持管理を行い、利用者が利用しやすい環境の提供に取り組 み、駅利用者の利便性向上を図っている。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)事務員による清掃実施を行い、清掃委託にかかる費用を節減している。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)物価高騰により支出増加傾向にあるが、委託料について回数を見直すなどして、節減に取り組んでいる。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)新型コロナウイルス感染症5類移行により、観光客数が徐々に増加しており、観光案内所の利用件数、利用者 数、	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

新型コロナウイルス感染症により、これまで規模縮小、中止してきたイベント等集客に関する取り組み内容を検討していく。
電気料金について、料金算定体系に基づき、定額料金の少額化のため、可能な限り節電に取り組む。

《施設所管課が実施・検討する事項》

経年劣化が進んでいる箇所も出てきているため、順次必要箇所の修繕が必要。電灯のLED化検討。
新型コロナウイルス感染症終息に伴う観光客増加に向け、指定管理者と連携したサービス向上のための取り組みの検討。